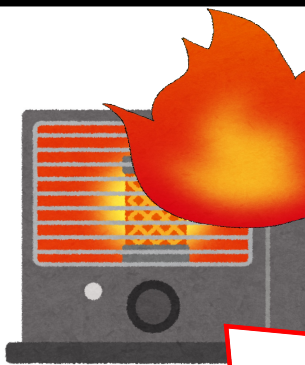


# 誤った使い方は事故の元 暖房器具の取り扱いに注意を！

皆様のお家では、どのような暖房器具をお使いですか。誤った暖房器具の使い方は、大きな事故につながる恐れがあります。正しい使い方を知って、寒い冬を安全で快適に過ごしましょう。

## ストーブの事故



火を消さないで石油ストーブに給油タンクをセットした。タンクから灯油がもれて引火し、火災が発生した！



POINT! 給油の際は、必ず火を消してください。タンクの口金  
が閉まっているかも確認しましょう。

洗濯物をストーブの上で乾かしていたら、  
ストーブの上に落ちて火災になった！



POINT! 熱で洗濯物の水分が蒸発して軽くなります。また、熱によって起こる上昇気流で洗濯物がゆれ、落ちやすくなります。乾きが早いからと、ついやってしまいがちですが、絶対にやめましょう。また、睡眠中に布団がストーブに触れて火災になることもありますので、就寝時にはストーブの火を消しましょう。

## カイロの事故



カイロをつけたまま寝たら  
低温やけどになった！

他にも湯たんぽや電気あんか、電気カーペット、こたつなどでも低温やけどは起こります。特に高齢者は、皮膚が薄いうえ、熱さを感じにくいいため、重症になりやすく注意が必要です。また、低温やけどは、見た目より重症の場合があります。早めに医療機関を受診しましょう。

■ 暖房器具は、取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。異常を感じた場合は、すぐに使用を中止して、販売店や製造業者に相談しましょう。また、リコール対象製品もあるので、確認してください。  
<参考>

消費者庁リコール情報サイト:<http://www.recall.go.jp/>

(独)製品評価技術基盤機構:[http://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/recall\\_new/index4.html](http://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/recall_new/index4.html)